



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 26

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 26. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 26: 37-40

ISSUE DATE:

1954-11-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186853>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會
水族館月報

No. 26

1954. 10月(11月5日)

録 事

本格的観光シーズンに入ったので、今月は先月の倍以上の来館者があつた。最も多かった日は24日で、2373名の入場者を見た。

水族館の内容施設については、今月は特に報告するような記事はないが、周辺の美化工事の一環として、かねてより計画中の博物館前の井戸の整備が今月中完成した。2月中に底浸えを終へた井戸は、その周辺に直径3mの洗場を作り、その壁に化粧タイルを施したので、見違えるばかりのスマートな姿となった。排水は土管によって洗場より直接近くのスイレンの池に導かれるように改めた。池は目下、平常よりノ尺ばかり減水しているが、干上るまでにはなっていない。

時岡委員と編者は中旬より、東京で開かれた第25回動物学会大会に出席するを機会に、10日あまり、関東各地の水族館を視察して歸つた。この行については、次号で報告するつもりであるが、施設の改善や運営上、すくぶる有益であり、多大の参考となった。それにしても、近頃の水族館ブームには、関係者ならずともいささかあきれるばかりで、あたかも水族館の周辺に蛸集する土産品店を見るが如くである。果してそのいくばくが本当に社会教育を目指しているものであろうか？

業 務 概 況

◎ 10月の入場者数

区 分	水族館発券数		明光社発券数		合 計	
	本月合計	果 計	本月合計	果 計	本月合計	果 計
大 人	6091	35264	14926	73620	21017	108884
小 人	206	3510	138	1881	344	5391
団 体	12767	47516			12767	47516
合 計	19064	86290	15064	75501	34128	161791
無料入場者					42	937

◎ 10月の収入		(果 計)
観光券売上金	585,125.	2,903,430.
雑 収 入	8,938.	18,607.
9月よりの繰越し	417,231.	
計	1,011,294.	

◎ 10月の支出
一般経費

費 目 別	金 額	果 計	備 考
人 件 費	49,497.	408,566.	
光 熱 費	8,199.	64,496.	
消耗品費	6,160.	31,005.	
備 品 費	3,480.	24,260.	
修 理 費	2,874.	42,314.	
賃 料 費	24,410.	122,495.	
厚生費	2,040.	12,790.	
借入材料費	—	—	
諸税公課	—	3,651.	
租 費	500.	3,940.	
通信運搬費	1,480.	10,674.	
研 究 費	8,000.	20,000.	水族館視察費
旅 費	160.	600.	
合 計	106,800.	744,791.	

水族館改善費

項 目	金 額	果 計	備 考
博物館破車	—	91,500.	
水溜槽工事	—	23,930.	
公園道路整備	—	70,090.	
博物館前排水工	—	3,825.	
雨戸水溜槽工事	—	125,39.	
費用超重量(追分)	1925.	30,000.	
雨戸入	—	231,884.	
ポンプ井戸整備工事	30,000.		
合 計	31,925.		

実験所費

費 目 別	金 額	果 計	備 考
合 計	—	538,370.	

博物館費

費 目 別	金 額	果 計	備 考
人 件 費	3,950.	30,185.	
消耗品費	—	170.	

修理費	—	6330.	
備品費	—	22,665.	
合計	3,950.	59350.	

積立金

費目別	金額	引出高	現在高	備考
ベースアップ資金	9100		141,800	
掌子資金	9100		98,734	
庫王	1500		5,852	
災害時予備金	60		631,706.50	貸金返済 ¥1000.23
会議費積立金	—		20,865.	
積立基金	97,520		483,890.	
合計	117,280		1382,947.50	

支出合計

(累計)

一般経費	106,800.	744,791.
水族館改善費	31,925.	231,884.
実験所費	—	538,370.
博物館費	3,950.	59,350.
積立金	117,280.	675,092.
計	259,955	2,249,487.

10月末現在高 751,339.

支出合計 2,249,487.

◎前年度との比較

	1953	1954	増減
入場者数	18346	34128	+ 15782
売上金	287,240.	585,125.	+ 297,885
支出金	220,992.50	259,955	+ 28,962.50

水族館記事

- ◎ アカウミガメ の仔の蒐集を今年は大敗して半ばあきらめていたところ、雅賀氏が之を用かれ、同氏宅で孵化された9月生れの赤坊約50匹を幸にも譲りうけることが出来た。
- ◎ ニシキエビ、ゴシキエビ、シマイシガエ 等もたくさん入って大形の甲殻類も賑わいくなった。
- ◎ 22日、左海館員の採集した アオリイカ 4匹が冬へのさきがけとして No. 26 の水槽に入った。

- ◎ 相変わらず本館には アカハタ が最も多く、ウミヒゴイ や ソマミ と共に水槽を赤く彩る。
- ◎ その他、10月中に入った珍しいものとしては、モンハナシヤコ (*Odontodactylus scyllarus*)、スジベラ (*Coris multi-color*)、カマスベラ (*Chellic inermis*) 等がある。

資 料

◎ 10月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(14)	3	4	7
気温 (℃)	<u>19.4—23.4</u> 21.6	<u>17.3—20.1</u> 19.1	<u>16.8—21.3</u> 19.2
水温 (℃)	<u>22.3—24.8</u> 23.4	<u>20.8—22.6</u> 21.9	<u>20.5—21.8</u> 21.3
比重	<u>21.0—22.4</u> 21.9	<u>22.5—23.5</u> 23.0	<u>22.7—24.0</u> 23.5

但し { 気温は南水槽
水温 } は No. 25 水槽 で 10 時に測定
比重

博物館記事

- ◎ 大阪学芸大学教授馬場菊太郎博士より自ら撮影されにウミウシの生態写真集 13 葉の寄贈をうけた。

昭和29年11月5日発行 (No. 26)

編集兼
発行人

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興會
和歌山縣 白浜町
瀬戸臨海実験所内
(電話・白浜温泉555)